

室蘭工業大学-学報

NO.649



下國シェフら関係者との記念写真
(2 ページに関連記事あり)

2023年11月号

目 次

◇ トピックス ◇

| | |
|---|----|
| 北海道FD・SDフォーラムで業務改善DXの話題を提供 | 1 |
| 【アシル-トイタ】白糠高校調理プロジェクト-白糠食物語をつなぐ-を実施 | 2 |
| 令和5年度10月期入学宣誓式を挙行 | 3 |
| 内海政春教授が日本学術会議「未来の学術振興構想（2023年度版）」の「学術の中長期研究戦略」に採択 | 4 |
| 国立アイヌ民族博物館と包括連携協力協定を締結 | 5 |
| 北海道宇宙サミット2023に出展 | 6 |
| 大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催 | 7 |
| 第3回コンピュータ科学トップランナーセミナーを開催 | 8 |
| 月島ホールディングスグループとの包括協力協定2023期 中間報告会を開催 | 9 |
| 横須賀高校の生徒が白老実験場を訪問 | 10 |
| 国立工業大学長が白老エンジン実験場を視察 | 11 |
| 北海道地方発明表彰発明協会会長賞を受賞 | 12 |

◇ 外部資金 ◇

| | |
|---------------|----|
| 民間等との共同研究の受入れ | 13 |
| 受託研究等の受入れ | 14 |
| 奨学寄附金の受入れ | 15 |

◇ 人 事 ◇

| | |
|------|----|
| 人事異動 | 16 |
| 訃報 | 17 |

◇ 学内会議 ◇

| | |
|-------------|----|
| 学内各種委員会等の開催 | 18 |
|-------------|----|

◇ 日 誌 ◇

| | |
|-----------|----|
| 学内行事・学外行事 | 19 |
|-----------|----|

トピックス

北海道FD・SDフォーラムで業務改善DXの話題を提供

令和5年9月1日(金)、9月2日(土)に札幌学院大学新札幌キャンパスで開催された、北海道FD・SD協議会、北海道大学大学院教育推進機構高等教育研修センター主催の北海道FD・SDフォーラム2023の分科会で、本学デジタル・キャンパス推進室の業務・働き方改革タスクフォースに所属する職員2名が「ポストコロナの業務改善DX」に関する話題を提供しました。

今年度サービスイン予定のクラウド型コンテンツ管理

基盤「Box」について、導入経緯や活用事例に加え、会場の参加者の協力を得て、本学Box内に参加者自身のファイルをアップロードする実演が行われました。また、発表終了後、参加者との質疑応答や意見交換を行うなど、本学にとっても非常に貴重な機会となりました。

今後も、本学のデジタル・キャンパス化に向けて、「Box」のみならず、学生サービスやその他業務に係るDXを推進していきます。



【アシルトイタ】白糠高校調理プロジェクト -白糠食物語をつなぐ-を実施

アシルトイタによる心と体に響く新しい食の価値共創拠点【JST共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）代表機関：室蘭工業大学】の事業の一環として、令和5年10月1日（日）に北海道・白糠町で白糠高校調理プロジェクト-白糠食物語をつなぐ-を実施しました。

白糠高校調理プロジェクトは、白糠高校の3年生を対象とした授業「総合的な探求の時間」におけるビジネスプラン実践であり、商品・プランの改善に役立てるとともに、食を専門とする方との交流を通じて生徒の主体性・社会性・コミュニケーション能力の育成を図ることを目的としています。

今回、白糠高校の生徒がビジネスプランの中でいくつか提案したメニューの中から、白糠町の食材を使った料理を実際に調理し、料理コンテスト番組「CHEF-1グラ

ンプリ2021」優勝など国内外でご活躍されている下國伸シェフをはじめ、白糠高校の先生方、学長、徳楽教授ら拠点メンバーで試食を行いました。レシピは事前に下國シェフに指導を受け、9月15日（金）にオンラインで調理の指導を受け、10月1日（日）の調理に臨みました。

下國シェフは「4品すべて現実的な料理である。地元企業と連携して商品化してはどうだろうか。一般の人にどう届くかを考えたら良いのではないか。白糠高校の生徒の熱い思いを感じる4品でした。」とコメントされました。

今回の白糠高校調理プロジェクトは、白糠町の若者が新しい時代の食と人々の生活を変えるという本拠点の趣旨を深める一助となるイベントになりました。

【メニュー】

- ①レアチーズケーキ（赤シソソースとブルーベリージャムかけ）
白糠食材：赤シソ、ブルーベリー、リコッタチーズ
- ②たこ・シソ小籠包
白糠食材：青シソ、柳だこ
- ③鹿肉ハンバーガー
白糠食材：鹿肉
- ④犬用かぼちゃクッキー
白糠食材：かぼちゃ



鹿肉バーガーを試食する下國シェフ



犬用クッキーを調理している
白糠高校の生徒



白糠町に対する熱い思いを込めて
プレゼンをする白糠高校の生徒

令和5年度10月期入学宣誓式を挙

令和5年10月2日(月)に本部棟大会議室において、令和5年度10月期入学宣誓式を挙

行しました。10月入学については、大学院における入学時期の拡大を図るため、博士後期課程については平成19年度から、博士前期課程については令和2年度から実施しているもので、今年度は大学院博士前期課程に6名、大学院博士

後期課程に15名のあわせて21名の方が入学しました。

式には新入生21名のうち18名が出席し、関係教職員が列席するなか、空閑良壽学長から新入生に激励とお祝いの言葉が述べられ、次いで新入生を代表して平沢さんが宣誓を行い、閉式となりました。



航空宇宙機システム研究センター 内海政春 教授の提案が日本学術会議「未来の学術振興構想（2023年度版）」の「学術の中長期研究戦略」に採択

日本学術会議が令和4年6月30日～12月16日に公募した「未来の学術振興構想（2023年版）」（<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-25-t353-3.html>）の「学術の中長期研究戦略」に、本学航空宇宙機システム研究センター内海政春教授が取りまとめをおこなった「人類のフロンティア拡大を牽引するシームレスな宇宙輸送ネットワークの実現」が採択されました。

「未来の学術振興構想（2023年版）」は、今後20～30年頃まで先を見通した学術振興の「グランドビジョン」を

示すために日本学術会議が新たに策定したもので、構想では複数の「グランドビジョン」を提示するとともに、それぞれの「グランドビジョン」について、その実現の観点から必要となる「学術の中長期研究戦略」を示すことを目指しています。

内海教授の提案：人類のフロンティア拡大を牽引するシームレスな宇宙輸送ネットワークの実現（<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-25-t353-3-153.pdf>）

国立アイヌ民族博物館と包括連携協力協定を締結

令和5年10月26日(木)、室蘭工業大学と国立アイヌ民族博物館は、北海道という地域の特色を活かした教育研究等について包括的な連携のもと相互に協力し、地域社会の発展と人材育成及び学術の振興並びにアイヌ民族の歴史文化の正しい理解促進に寄与することを目的として、包括連携協力協定を締結しました。

協定式において本学の空閑学長は、「今求められているのは、理系文系という分け方ではなく、総合知、すなわち融合して新たな価値を創出するということである。本学は理工系の大学のため、理工系に強みを有しているが、文系の言語学の教員も複数在籍しており、また、若手の教員も増えてきているため、このような機会を一つのきっかけとして、本学の教員に積極的に参加していただき、融合研究による新たな価値の創出を期待している。」と話し、国立アイヌ民族博物館の佐々木館長は、「当博物館の機能を強化するために、理工系の研究者の分析などの力をお借りし、アイヌ文化の研究・展示・人材育成に関して、厚みを増すことを期待している。また、室蘭工業大学の胆振学という授業にも注目しており、室

蘭工業大学の学生に対してアイヌ文化の展示や博物館の機能などについて学ぶ機会を提供したい。」と話しました。

今後は、連携協力推進会議を設置し、本学に新たに設置したウイズミュージアムタスクフォースと国立アイヌ民族博物館の担当者を中心に、両者の連携を深めることにより、アイヌ民族の歴史文化の正しい理解促進に寄与すること及び北海道を世界水準の価値創造空間にすることを目指してまいります。

包括連携協定の協力事項

- (1) 地域の伝統文化（アイヌ民族の歴史文化を含む。以下同じ。）等に関する教育に関すること
- (2) 地域の伝統文化等に関する共同調査研究に関すること
- (3) 共同調査研究の成果展示などの博物館活動に関すること
- (4) 研究者の相互交流に関すること
- (5) その他両者の協議により必要と認めること



佐々木館長（左）と空閑学長（右）



協定締結式の様子

北海道宇宙サミット2023に出展

令和5年10月12日(木)に帯広市で開催された北海道宇宙サミット2023に、今年も室蘭工業大学ブースを出展しました。

北海道宇宙サミットは、宇宙と様々な産業とのつながりをつくる日本最大級の宇宙ビジネスカンファレンスで、今回3回目の開催となります。

室蘭工業大学からは航空宇宙機システム研究センター長の内海政春教授と航空宇宙機システム研究室の学生、学生広報スタッフ「むろこーほー」のパーカーさんが参加し、大学のブースに訪れた来場者に対し、本学の活動をPRしました。



大学改革セミナー「室工大未来塾」を開催

令和5年10月17日(火)に第15回大学改革セミナー「室工大未来塾」を本部棟3階中会議室で開催しました。今回は、信州大学学長の中村宗一郎氏を講師に招き、「信州大学の存在意義 ～信州大学のミッション・ビジョン・バリュー～」と題して講演があり、役員をはじめ、大学運営に携わる教職員約30名が参加しました。

講演では、信州大学の研究力強化や人材育成、教育システム改革、産学官連携に関する取組みについての講演が行われ、参加者は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講演する中村氏

第3回コンピュータ科学トップランナーセミナーを開催

コンピュータ科学トップランナーセミナーの第3回目を、令和5年10月17日(火)に教育・研究1号館A棟A304講義室で開催し、約93名が参加しました。今回は、南方科技大学教授の石渕久生氏を講師に招き、「国際的に高いインパクトを持つ研究テーマの探し方と発表方法」と題して、研究に対する工夫の意識や発表場所の選択の重要性など、本学博士課程学生にとって大変示唆に富む内容を講演いただき、参加者は興味深く聴き入っていました。講演後の質疑応答では、会場の参加者からの質問に対して丁寧な説明があり、セミナーは盛況のうちに終了しました。



講演する石渕氏

月島ホールディングスグループとの包括協力協定 2023期 中間報告会を開催

令和5年10月18日(水)、本部棟大会議室において月島ホールディングスグループとの包括協力協定2023期 中間報告会を開催しました。

月島ホールディングスグループと本学は、相互の発展に寄与すると共に社会に貢献する技術開発に資することを目的として、平成23年度(2011年)に包括協力協定を

締結しており、締結後は定期的に報告会を開催して、共同研究の進捗状況等を共有しています。

報告会では本学および月島ホールディングスグループ双方の研究者による発表の後、今後の共同研究の更なる発展に向けた活発な意見交換が行われました。



横須賀高校 2 年生40名が白老実験場を訪問 ～有翼無人航空機の自動飛行とロケットスレッド実演～

航空宇宙機システム研究センター

令和 5 年10月18日、神奈川県立横須賀高校の高校 2 年生40名がスーパーサイエンスハイスクールの研修旅行の一環として本学白老実験場を訪問し、有翼無人航空機の自動飛行およびロケットスレッドの実演の様子を見学しました。

有翼無人航空機の自動飛行では、上羽教授および柴田

助教より研究の取り組みや課題について説明の後、2機を用いて自動連続旋回及び周回飛行を実演し、着陸時には大きな歓声があがりました。

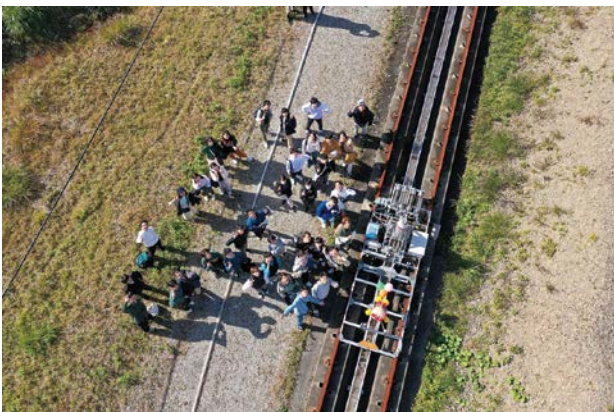
また、300mの直線軌道上を走るロケットスレッドの走行実験見学（Run59）とマルチコプターの操縦体験を行いました。



有翼無人航空機の説明を聞く横須賀高校の皆様



自動で連続旋回する有翼無人航空機



走行後のロケットスレッド前での記念撮影（空撮）



水しぶきをあげて停止するロケットスレッド

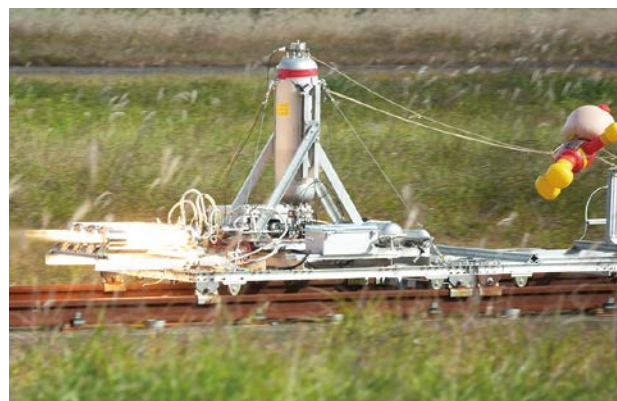
国立工業大学長が白老エンジン実験場を視察

令和5年10月21日(土)、北見工業大学・鈴木学長、東京海洋大学・井関学長、電気通信大学・田野学長、九州工業大学・三谷学長、奈良先端科学技術大学院大学・塩崎学長が白老町にある航空宇宙機システム研究センター白老エンジン実験場を視察しました。

それぞれの学長は、航空宇宙機システム研究センター所属の中田准教授から白老エンジン実験場の施設概要や研究プロジェクト概要などの説明を受けた後に、高速走行軌道実験設備などを見学しました。



視察の様子



燃焼実験の様子

本学教員が令和5年度北海道地方発明表彰 発明協会会長賞を受賞

この度本学教員が、技術的に優秀かつ、実施効果の高い技術やデザインを生み出した発明者等、またその実施者であるとして、令和5年度北海道地方発明表彰 発明協会会長賞を受賞しました。

本受賞は、近年頻発する豪雨災害時の土砂除去作業において、作業姿勢を改善し、道具を軽量化にすることで、作業者の負担軽減及び作業の効率化を図ることを目的としたショベルに関するもので、科学技術振興機構 A-STEP機能検証フェーズタイプ（研究代表：吉成 哲教授）の研究成果です。

土砂除去作業を想定した呼吸代謝計測定試験を実施したところ、従来のショベルと比較して作業負担の指標となる酸素摂取量を約13%減少することができました。災害復興現場において使用され、作業者の負担軽減に寄与しています。

発表者

吉成哲、藤木裕行、柴田義光、空閑良壽ほか浅香工業(株)、北海道立総合研究機構

発表タイトル

人間工学に基づく負担軽減化ショベル（意匠登録第1709092号）

吉成教授による受賞コメント

この度は、北海道地方発明表彰発明協会会長賞を受賞でき、関係各位に感謝申し上げます。産学官連携による研究開発の成果を評価いただき大変光栄に存じます。

今後とも様々な連携を推進し、大学の知が社会実装につながるよう努めてまいります。



外部資金

民間等との共同研究の受入れ

| 研究代表者・職・氏名 | 相手方区分 | 金額(千円) |
|--------------------------|---------|--------|
| もの創造系領域 教授 北 沢 祥 一 | 大 企 業 | 3,510 |
| もの創造系領域 教授 清 水 一 道 | 大 企 業 | 2,000 |
| しくみ解明系領域 特任教授 岸 上 順 一 | 中 小 企 業 | 500 |
| 合 計 (3 件) | | 6,010 |

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

| 研究代表者・職・氏名 | 委託先区分 | 金額(千円) |
|---------------------|-------|--------|
| しくみ解明系領域 助教 鈴木元樹 | 中小企業 | 754 |
| 合計(1件) | | 754 |

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

奨学寄附金の受入れ

| 寄附者 | 目的 | 金額(千円) |
|-----------------------|--------|--------|
| 株式会社日本デジタル研究所 | 工学教育助成 | 150 |
| 日本データサービス株式会社 | 工学研究助成 | 500 |
| 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター | 工学研究助成 | 300 |
| 公益財団法人天田財団 | 工学研究助成 | 2,620 |
| 太平洋セメント株式会社 | 工学研究助成 | 500 |
| 合 計 (5件) | | 4,070 |

人事

人事異動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

| 発令年月日 | 異動内容 | 氏名 | 現職 |
|------------|---|----------------------|----------------|
| 令和5年10月31日 | 〈辞職〉 | RIKI HENDRA PURBA | 大学院工学研究科 博士研究員 |
| 令和5年11月1日 | 〈採用〉 MONOづくりみらい共創機構 特定専門職員 入試戦略課国際交流室 事務補佐員 | 赤 菽 恵 梨 本 郷 祐 子 | |

訃 報

名誉教授

棚 次 亘 弘 (80歳)

本学名誉教授、棚次 亘弘氏は、去る令和5年10月13日(金)逝去されました(80歳)。

ここに、生前の功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、大阪大学大学院工学研究科博士課程を修了後、昭和48年4月東京大学助手、昭和56年4月宇宙科学研究所助手、昭和56年8月同助教授、平成元年8月同教授に昇任し、平成15年10月宇宙航空研究開発機構教授を経て、平成16年9月本学教授、平成17年3月本学航空宇宙機システム研究センター長を歴任され、平成21年4月同名誉教授となられ、現在に至っておりました。



学内会議

学内各種委員会等の開催

< 9月25日～10月24日 >

開催日時 令和5年9月26日(火)
会議名 第16回役員会

開催日時 令和5年9月27日(水)
会議名 第4回経営協議会

開催日時 令和5年9月27日(水)
会議名 第17回役員会

開催日時 令和5年9月27日(水)
会議名 第5回学長特命連絡会

開催日時 令和5年10月5日(木)
会議名 第6回教育研究評議会

開催日時 令和5年10月5日(木)
会議名 第18回役員会

開催日時 令和5年10月10日(火)
会議名 第19回役員会

開催日時 令和5年10月12日(木)
会議名 第5回大学院工学研究科博士後期課程専攻長等会議

開催日時 令和5年10月19日(木)
会議名 第6回学長特命連絡会

開催日時 令和5年10月24日(火)
会議名 第20回役員会

学内行事

- 9月25日(月) 令和5年度9月期学位記授与式
- 10月2日(月) 令和5年度10月期入学宣誓式
- 10月2日(月) 辞令交付
- 10月14日(土) 令和6年度特別選抜(総合型選抜I・II・夜、社会人選抜)
- 10月18日(水) 月島ホールディングスグループとの包括協力協定2023期 中間報告会

学外行事

- 10月1日(日) 【アシル-トイタ】白糠高校調理プロジェクト-白糠食物語をつなぐ(白糠町)
- 10月4日(水) 令和5年度第1回国立大学協会政策研究所 研究会(オンライン)
- 10月5日(木) 道内国立高等専門学校長と道内工業系大学長等との懇談会(旭川)
- 10月6日(金) 令和5年度道内国公立大学学長懇談会(札幌)
- 10月12日(木) 北海道宇宙サミット2023(帯広市)
- 10月20日(金) 第58回国立工業大学学長懇談会(登別)
- 10月23日(月) 国立大学協会大学入学者選抜のリスクマネジメントセミナー(オンライン)

編集後記

- ◆ 先日、令和5年度国立大学法人等広報担当者勉強会に参加しました。
国立大学全86大学中、73大学が参加し、国立大学2校と私立大学の講演やグループ討議を通じて、数多くの大学の広報担当者と交流することができました。
今回の勉強会のテーマは「大学広報における効果的なSNS運用」で、本学でもSNSは積極的に取り組んでいるため、タイムリーなテーマでした。
グループワークでは、SNSでどこまで「ゆるさ」を出して良いのか、いわゆる炎上対策についてなど様々な議論があり、各大学の方向性について聞くことができ勉強になりました。国立大学はどうしても堅いイメージを持たれてしまっていますが、皆様に親しみやすさを持っていただくにはどうしたら良いのかを日々意識しております。今後もSNSや他の媒体を通じて、より多くの方に室蘭工業大学を知ってもらえるよう、ムロびよんと一緒に頑張ります。

ハロウィンのイラストを描きましたが、少し時期がずれてしまい雪が降ってしまいましたので、雪だるまも入れました。



(Garoon : 総務広報課総務広報係、E-mail : koho@muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

- 編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014
- 印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308